

帝釈自治振興区

しんこうセンターたより



第 218 号

(令和元年 7 月 5 日)

発行：帝釈自治振興区

電話：6-0055 (FAX 兼)

E-mail : taishaku@vesta.ocn.ne.jp

これからの主な行事予定・施設利用等

- 7月 5日(金) 行政文書
10日(水) 高齢者部グラウンドゴルフ大会(スコラ高原コスモドーム)
11日(木) 議会報告会 午後7時~
13日(土) ステンドグラス教室
14日(日) 第2回健康寿命向上セミナー(宇山西集会所) 午後1時30分~
15日(月・祝) ステンドグラス教室
17日(水) ベっぴん会
19日(金) 行政文書
19日(金) 陶芸教室
19日(金) 人権啓発映画上映会(東城文化ホール 午後7時~)
21日(日) 参議院議員通常選挙投票日
23日(火) おふくろの味料理教室 午前9時30分~
31日(水) 帝釈文化研究会研修旅行(大塚国際美術館:徳島県鳴門市)
- 8月 1日(木) 第2回武士の台所
5日(月) 行政文書
18日(日) 旧帝釈小学校周辺環境整備作業 午前8時~
20日(火) 行政文書
25日(日) 帝釈地域グラウンドゴルフ大会



その他の教室

グラウンドゴルフ教室 午前9時~(7/6 7/11 7/20)
(グラウンドの状態では変更になる場合があります。)
箏曲教室(7/6 7/26)

ご厚志のお礼

見舞い返しとして

帝釈自治振興区始終支部へ

田 辺 秀 明 様より

帝釈自治振興区未渡支部へ

瀧 口 讓 治 様より

香典返しとして

帝釈自治振興区始終支部へ

田 辺 秀 明 様より

今月の「おふくろの味料理教室」は、7月23日(火)に開催します。

メニューは、ざるそば・キュウリやズッキーニなど夏野菜を使った料理を予定しています。是非ご参加ください。参加申し込みは、帝釈自治振興センターへ連絡してください。

また、「武士の台所」は8月1日(木)に開催します。男性ならではの料理メニューで人気があります。鮎の塩焼きと焼き野菜等になる予定です。是非ご参加ください。

帝釈文化研究会からのお知らせ

徳島県鳴門市にある『大塚国際美術館』を見学に行きます。

有名な画家の作品が1000点余り展示してあります。展示作品はすべて陶板で再現されており、展示室もたくさんあり、夢の世界にでも迷い込んだくらいのスケールで展示されているそうです。遠方で出発時間も早いのですが、一度は見に行きたい美術館です。是非ご参加ください。

日時：令和元年7月31日（水） 午前6時ころ出発予定

行き先：大塚国際美術館・鳴門のうず潮

参加費：一人 5000円

定員：40名（定員になり次第締め切ります。）

参加資格：帝釈地域にお住まいの方・帝釈地域に勤務されている方
（中学生以上を対象とします）

参加締め切り：7月19日（金）

※詳しい行程については、後日、参加者に連絡します。

お問い合わせ先：☆帝釈文化研究会 会長 村上征二郎

☆帝釈自治振興センター



人権啓発映画上映会のお知らせ

「一認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私
一 ぼけますから、よろしくお願いします。」

が上映されます。舞台は、広島県呉市。この街で生まれ育った「私」はこのドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむいた父。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内面を丹念に描いたドキュメンタリー映画です。

娘が泣きながら撮った1200日の記録です。涙を流しながら鑑賞しなければならないかもしれませんが、現代の課題として、直面している問題です。是非ご覧いただき、私たちに何ができるか、何をしなければいけないか、考えるきっかけづくりにしましょう。

日時 7月19日（金）開 場 18:30
上映開始 19:00

会場 東城文化ホール
入場料 無料

人権啓発映画上映会のお知らせ 入場無料



©2018「ぼけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会

母、87歳、認知症。父、95歳、初めての家事。
広島県呉市。この街で生まれ育った「私」（監督・制作
子）は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。
18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京離
らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり
娘を、両親は遠くから静かに見守っている。
そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。め
そめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で
支える母。母の助けて人生最大の危機を乗り越えた
「私」は、父と母の記録を振り返る。だが、ファイ
ンダーを渡し、「私」は少しずつ母の老化に気づき始
めた。病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリン
ゴの皮をむく父。仕事を捨て実親に帰る決心がつか
ず置かれる「私」に父は言う。「（介護は）わがやる。
あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両
親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め・・・

大反響のテレビドキュメンタリー、待望の映画化。
娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家
族の内面を丹念に描いたドキュメンタリー。連続取材
を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、
視聴者から再放送の希望が殺到。そして手をさしの
べつつも、制作費としてのまなざしを要する異議にま
っすく向けた胆啓作。

日程

7月19日(金) 開場 18:30 / 上映開始 19:00
(上映時間 102分)

会場

庄原市東城文化ホール 庄原市東城町川東 1188-2

問い合わせ

庄原市東城支所市民生活室 電話 (08477)2-5121



地域マネージャーだより



6月21日(金)に、「第8回お寺カフェええ塩梅 In 帝釈」が広国院で開催されました。

はじめに、もみじの丘帝釈の職員によるサザエさん体操をされました。聞きなれた曲に合わせて、少し頭の体操も併せての体操で、脳の活性化に効果があるようです。

そして、庄原市役所東城支所の生活相談員の横山友三さんによる防犯教室がありました。私たちの住まいの身近なところで起きた様々な犯罪や事故などの事例を挙げながら、お話をしてくださいました。空き巣被害があったこと、飲酒運転がいまだに多いこと、等々です。また、近年、よく耳にする特殊詐欺について、詐欺に遭わない身の守り方、もし遭ったらどうするか、さらに、訪問販売による被害についても、話がありました。「これ、変だな。おかしいな?」と思ったら、すぐに身近な人に相談する、警察または東城支所の相談窓口、横山相談員へ連絡してくださいとのことです。

今回も多く参加者があり、終わりのおしゃべりタイムでは、いつも以上に賑やかに過ごすことができました。ほほえみの会をはじめ、運営に携わっていただいたスタッフのみなさまに感謝です。次回も楽しみにしています。



6月28日(金)に帝釈自治振興センターでサロン交流会がありました。帝釈自治振興区内のサロンの世話人及びメンバーの他、帝釈自治振興区の会長、副会長、支部長、高齢者部員、社会福祉部員、民生児童委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員の参加がありました。

まず、第1部として、庄原版終活ノート「いきかたノート～私からあなたへ～」について、庄原市生活支援コーディネーターの上田正之さんによる講話がありました。

はじめに、庄原版終活ノートの目的についてです。

- 自分が〃最期を迎えるとき〃、自分は どうしたいか(どうして欲しいか)を考える。
- そのときまで、「自分らしく生きる」ために、自分の健康や暮らし方、生き方、逝き方を考える。
- その思いを家族や大切な人と共有する。市販のエンディングノートとは違い、これから、いかに心豊かに、最期まで、自分らしく生きるためのノートであることを強調されました。

つぎに、実際に記入するときの留意点です。

☆心豊かに、安心して暮らしていくために考えてほしいこと。☆介護や看護が必要になったときの暮らし方に考えてほしいこと。☆最期の迎え方について、考えてほしいこと。伝えておきたいこと。それぞれの項目について、上田さん自身がこれまで経験された具体例をまじえながら、説明していただき、これからのいきかたについて、より深く考える動機づけとなりました。

続いて、第2部として、帝釈自治振興区内にある地域サロンの活動報告です。現在、9サロンあり、それぞれの活動状況や今後の予定、活動をする中での問題点や課題などについて、意見交換をしました。

最後に、庄原市役所東城支所の保健師、森脇祥子さんから、いのち支える庄原プラン(庄原市自殺対策計画)についての説明がありました。

今回のサロン交流会は、支えあえる地域作り、身近な人や家族との間で、思いを語り、共有しあえる関係作りの大切さを再確認できる機会になりました。

